

地方議会シンポジウム2018

人口減少社会を迎え、地方議会への多様な人材の参画をどのように実現するか

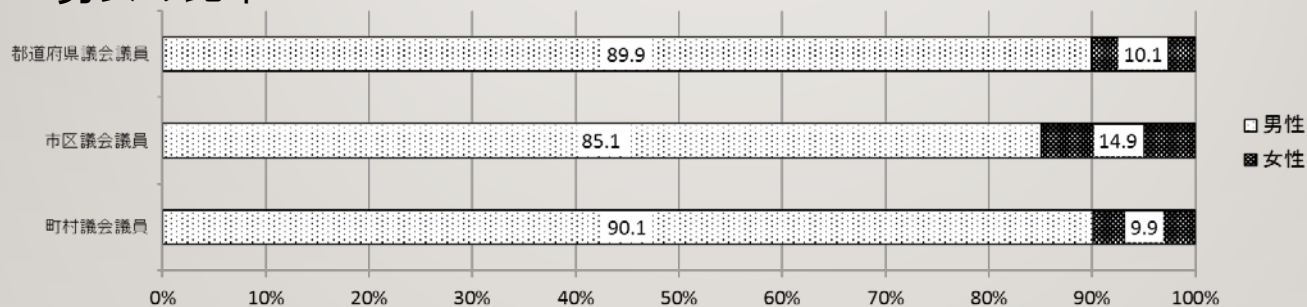


討論の前提

- 人口減少社会の衝撃 ⇒ 地方議会の存続の前に、地域社会自体が存続できるのか
(生活インフラ、子育て、介護、防災…)
- 増大する地方議会の役割と責任 ⇒ 住民意思の集約と「説得」
(誰がニーズをくみ上げるのか、誰が「不利益」を説得するのか)
- しかし、地方議会への無関心拡大 ⇒ 住民、議員双方が「魅力を失う？」
(現状を示すマジックナンバー 10 20 50)
…果たして、地方議会に未来はあるのか？

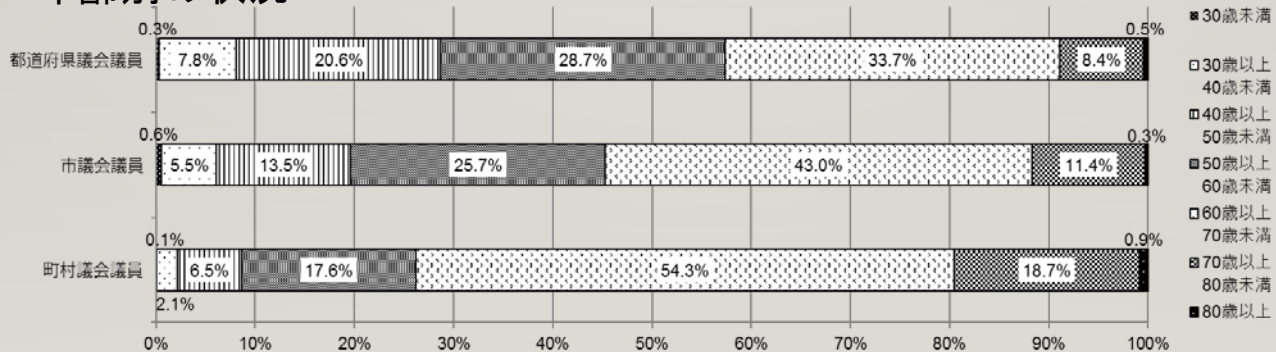
10

● 男女の比率



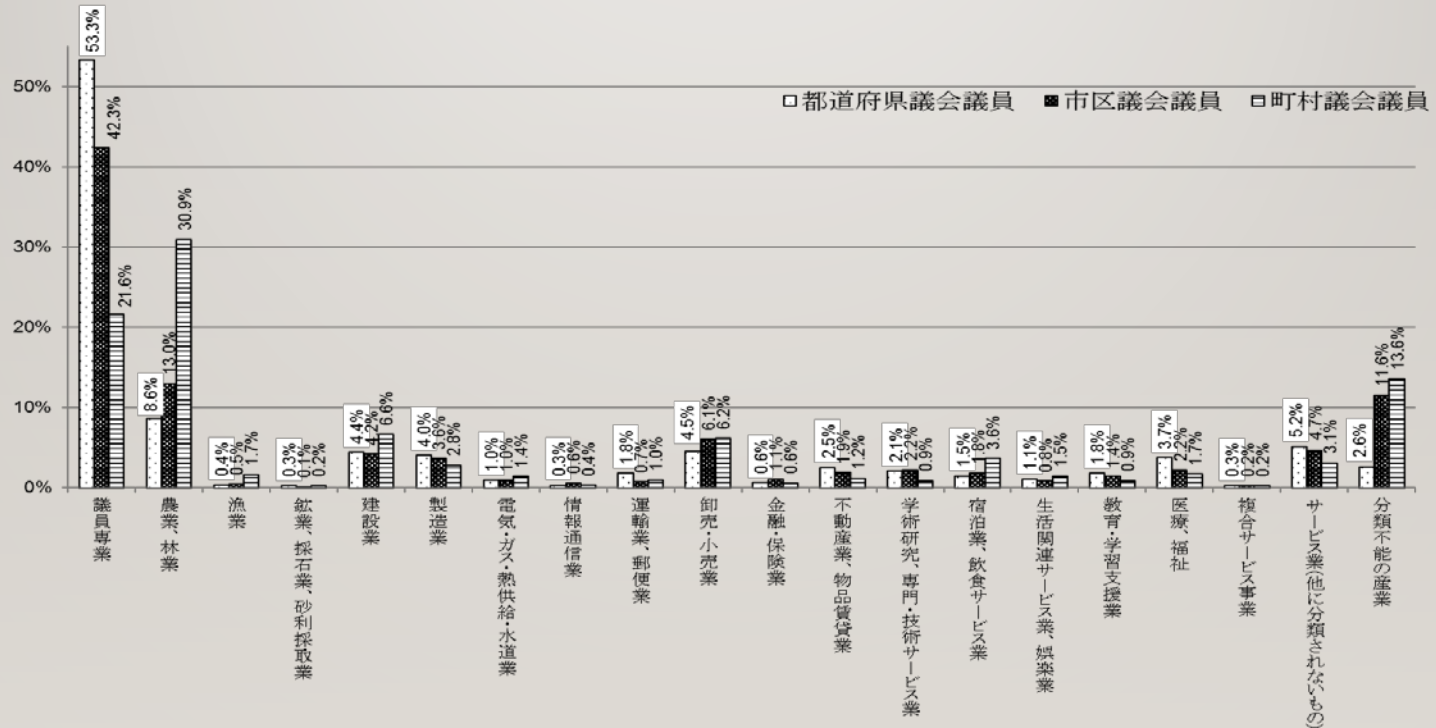
出典：総務省「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調」(平成29年12月31日現在)

● 年齢別の状況



出典：全国都道府県議会議員会「都道府県議会提要」(平成27年7月1日現在)
 全国市議会議員会「市議会議員の属性に関する調」(平成28年8月1日現在)
 全国町村議会議員会「第62回町村議会実態調査結果の概要」(平成28年7月1日現在)

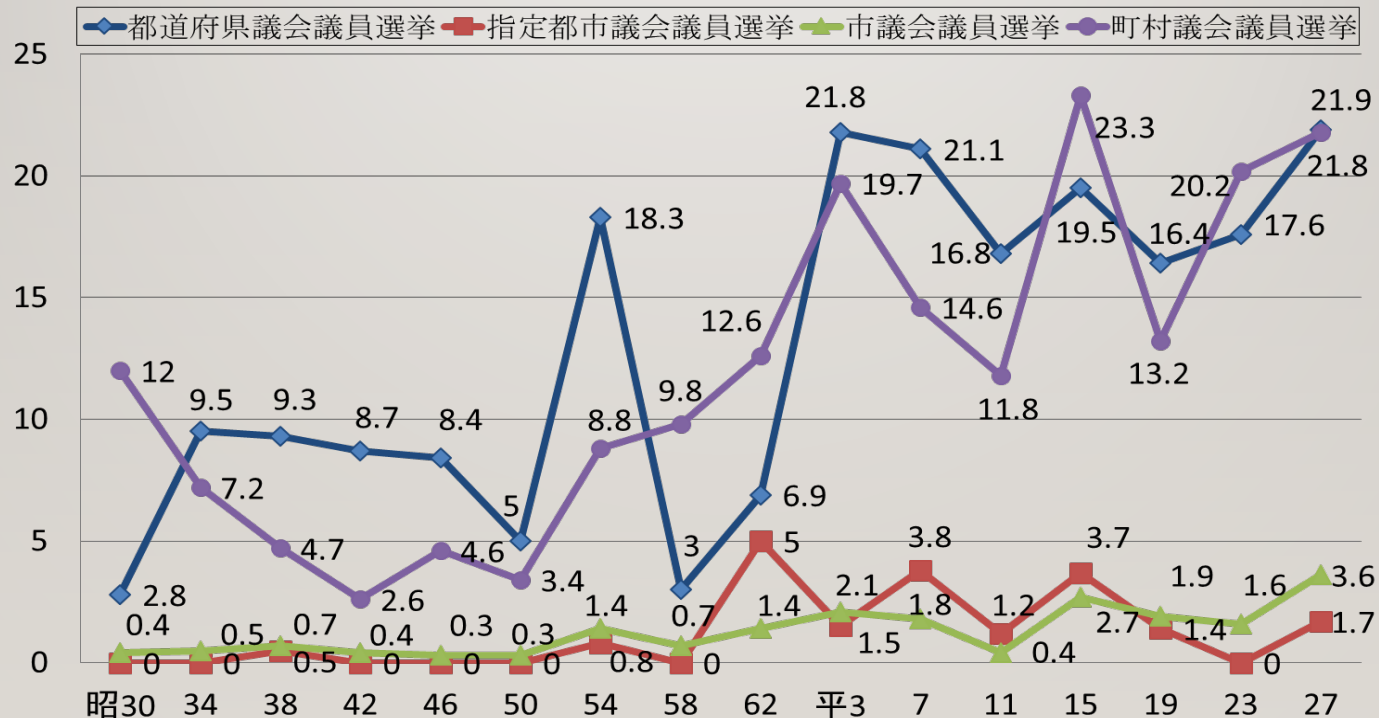
● 地方議会議員の概況(職業別)



注： 都道府県のうち、福島県、群馬県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、兵庫県、和歌山県、大分県は除かれている。

出典： 全国都道府県議会連合会「都道府県議会提要」(平成27年7月1日現在)
 全国市議会連合会「市議会議員の属性に関する調査」(平成28年8月1日現在)
 全国町村議会連合会「第62回町村議会実態調査結果の概要」(平成28年7月1日現在)

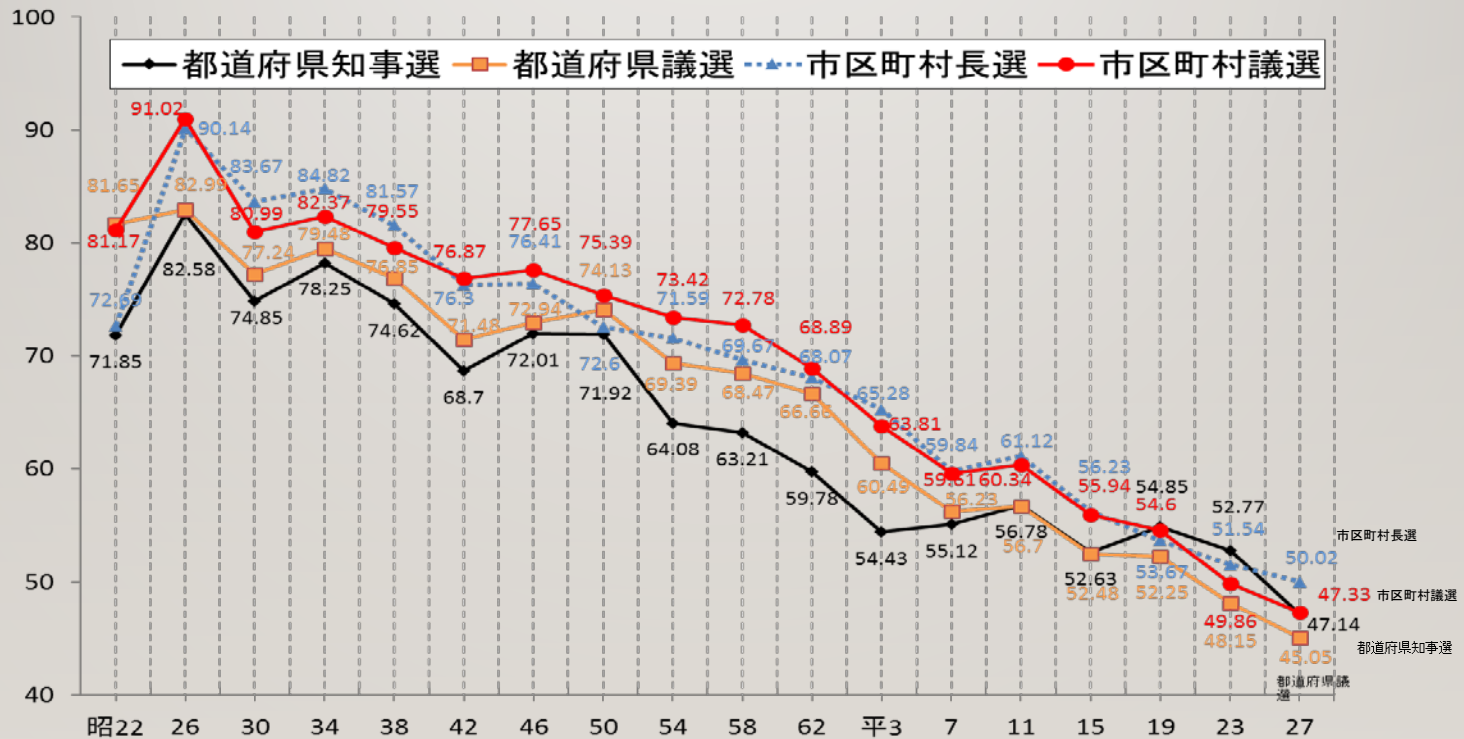
• 統一地方選挙における改選定数に占める無投票当選者数の割合の推移



出典：総務省「地方選挙結果調」を基に作成。(本調査は、統一地方選挙の際に実施したもの)
注：第1回、第2回統一地方選挙の際は調査を実施せず。

50

● 統一地方選挙における投票率の推移



出所：総務省「地方選挙結果調」を基に作成。（本調査は、統一地方選挙の際に実施したもの）

主な論点

- ①各パネリストからの報告
- ②多様な議員をどう確保するか
- ③住民の参加をどう広げるか
- ④地方議会の未来のために